

安行小の環境学習・活動の紹介

ヤギを育てよう

菊次 哲也

安行小学校ではエコクラブと飼育委員会が協力してヤギを三頭育てています。神根にある園芸センターヤマオカの山岡さんからお借りしています。

山岡さんは小さい時から牛やヤギなど動物と一緒に生活をしてきたそうです。高校を卒業して畜産農家を始めようと北海道まで牧場経営を学びに行きました。しかし北海道の広大さに圧倒され、土地の狭い川口での牧場経営はあきらめました。とはいうものの動物への思いは年をとる毎につのり、仕事が一段落したところでヤギやヒツジを飼うようになったそうです。今では、神根で何十頭も飼っています。山岡さんは一日ふれあい動物園を行うことがあるそうです。子どもたちに動物のかわいさ、命の大切さを伝えるためです。そんな山岡さんに、ある時「安行小学校で一日だけでなく、一ヶ月、長期間借りて育てることはできませんか」と申し入れたところ、快くご承諾いただきました。

初めてヤギとヒツジが学校にやってきたのは六月四日です。子どもたちは大喜びでまわりの草を摘んでは、あげていました。こわがっていた低学年

の子どもたちも、慣れてくると笑顔でエサをあげるようになります。ヤギたちが好きな草を見つけて持つてくるようにもなりました。子どもたちの観察力は素晴らしいです。一ヶ月後の七月五日の二十五分休みがお別れとなりましたが、その時はたくさんの子どもたちが泣きながら手をふって見送りしました。ヤギを育てることを通して、子どもたちの心も育つと強く感じました。

そこで二学期にまた借りることをお願いしました。期限は十二月二十二日の終業式まででした。ところが最終日二十一日にヤギの赤ちゃんが産まれたのです。ヤギは産まれてすぐに立ち上がり、お母さんのおっぱいを飲みました。一日経たないうちに歩くようになり、三日目には切り株の上をぴよんぴよん飛び歩くようになりました。

ヤギの赤ちゃんの成長を子どもたちと一緒に見守りたいということで、山岡さんには無理を言って三月まで延長をお願いしました。飼育委員会の発案でヤギ募金も行いました。赤ちゃん誕生から2ヶ月。安行小

の校庭を赤ちゃんやぎがたまに散歩しています。赤ちゃんやぎ「ゆき」ちゃんの頭には、もうかわいい角が生えています。

